

No	該当頁	該当行 (図表番号)	誤	正
1	37	2	第2版	新版
2	38	5	コミュニケーション	コミュニケーション
3	58	2	プログラムマネジャーおよび プログラムマネジャー	プログラムマネジャーおよび プロジェクトマネジャー
4	68	26	戦略とプログラムの項で	戦略とプログラムの関係の項で
5	74	図表2-1-7	知識情報の共有 オープンに環境で	知識情報の共有 オープンな環境で
6	77	6→7	情意組織	上位組織
7	78	28	変化対応	変化への対応
8	85	2	本質を見つめる	本質を見つめることである。
9	107	図表2-2-14	SWOT、クロスSWOT 弱み×強み ⇒ 強みで機会を生かす	SWOT、クロスSWOT 弱み×強み ⇒ 最悪の事態を招かないようにする
10	115	12	i)方針に策定	①方針の策定
11	117	図表2-2-18	立ち上げ ・実行組織知性の	立ち上げ ・実行組織体制の
12	129	2	プロジェクトマネジャーは	プログラムマネジャーは
13	133	8	(第4部第3章を参照)	削除
14	137	6	複数のプログラムを組み合わせた	複数のプロジェクトを組み合わせた
15	143	10	要素の全てをに対応	要素の全てに対応
16	151	20	(第2部第2章4節5)	(第2部第2章5)
17	166	12	第5部第3章価値とその評価手法に	第5部第3章価値と価値評価に
18	172	7	2-4-5に示す「治療満足度	2-4-5に示す、治療満足度
19	178	図表2-4-8	評価指標のマネジメントプロセス	価値評価のマネジメントプロセス
20	180	16	ことが重要である。	ことが重要である。(図表2-4-9参照)
21	180	20	評価が行われる。	評価が行われる。(図表2-4-10参照)
22	182	図表2-4-10	③収益力分析 ●総資本利益(ROI)	③収益力分析 ●総資本利益率(ROI)
23	196	18	る。	る。(第4部4章 519頁参照)
24	200	18	以下にバランススコアカード	図表2-4-18にバランススコアカード
25	200	22	いけなし。	いけない。
26	201	3	構成させている。	構成されている。(図表2-4-19参照)
27	202	1	図表2-1-9	図表2-4-9
28	202	図表2-4-20	収益責任 プログラム、プロジェクト、プロジェクト マネジメント、チーム、個人の説明…	成果責任 プログラム、プロジェクト、プロジェクト マネジメント、チーム、個人の説明…
29			成果責任 プログラムのステークホルダーと 価値実現に関する具体的な…	収益責任 プログラムのステークホルダーと 価値実現に関する具体的な…
30	208	11	(第3部第2章コラム参照)	(第3部第2章240頁 コラム参照)
31	214	14	図3-1-7	図表3-1-7
32	216	図表3-1-9	フェーズ I [構想] 4行目 開発段階で構想計画に戻り	フェーズ I [構想] 4行目 計画・実施段階で構想計画に戻り
33	227	23、24	プロジェクトマネージャ	プロジェクトマネジャー
34	231	8	プロジェクト価値アセスメント計画	プロジェクト価値評価計画
35	234	図表3-2-6	・品質管理測定値 ヒストグラム	・品質管理測定値 ヒストグラム
36	243	1	項を求めて参加する。	項を求めて参加する。(第3部第1章6-2参照)
37	245	14→最終行	プロジェクトステークホルダーは…示す	14行から最終行まで削除
38	247	図表3-3-3	プロジェクトのパラメーターへの影響	プロジェクトのパラメーターへの影響
39	249	15	留意点」参照	留意点」250頁参照
40	251	6	の2つがある。	の2つがある。(図表3-3-6参照)

No	該当頁	該当行 (図表番号)	誤	正
41	257	図表3-4-3	1)、2)	①、②
42	265	3	によるWEBの階層化	によるWBSの階層化
43	268	図表3-5-2	プロジェクト マネジメント の資源	プロジェクトの資源
44	271	図表3-5-8	情報資源 (2)組織共有データ、 イントラネット 情報	情報資源 (2)組織共有データ、 (a)イントラネット 情報
45			知的資源 【 知的所有地 】	知的資源 【 知的所有権 】
46	272	18	なお、通常、 2)および3)に	なお、通常、 ②および③に
47	274	図表3-5-7	5)資源の所在する情報 ・外部資源 ④業界情報・・・ ⑤利用可能能力・・・	5)資源の所在する情報 ・外部資源 ⑤業界情報・・・ ⑥利用可能能力・・・
48	281	11→12	計画通りに・・・ ・・・予測を行う	削除
49	291	17	業務 プロセスには	業務 プロセスは
50	292	図表3-6-1	成果 ・計画の 実情 の乖離	成果 ・計画の 実績情報 の乖離
51	298	8→9	コンストレイント	CONSTRAINT
52	300	図表3-6-5	・クリティカルパスおよび全体の所要・・・ 「 フート 」は	・クリティカルパスおよび全体の所要・・・ 「 フロート 」は
53	302	24	を参照いただきたい。	を参照。
54	312	6	3-2-5節	2-5節
55	318	3	以下のような	図表3-7-3(317頁) のような
56	333	図表3-8-1	環境変化制約条件 ・ 技術的 知識データデータベース・リスク対応・・・データ等	環境変化制約条件 ・ 技術 知識データデータベース・リスク対応等
57	345	16	リスクトランス	リスク許容度
58	347	図表3-8-9	プロジェクト要員 Prject Management	プロジェクト要員 Prject Manager
59	349	図表3-8-10	・レビュー インスペクション・レビュー	・レビュー インスペクション
60	351	12	Σ [不確実性×インパクト]	Σ (リスク事象、インパクト)
61	355	図表3-8-14	軽減 実現化	軽減化 現実化
62	371	図表3-10-1	実践指針 ・購入者は納入者を 構成な手段で	実践指針 ・購入者は納入者を 公正な手段で
63	374	図表3-10-3	実費償還型 ・・・可能性があるため、 納入側に	実費償還型 ・・・可能性があるため、 発注側に
64	376	19	契約タイプ(2.1.3項参照)	契約タイプ(2-1-③項参照)
65	378	12	(上記、 2-3-2項 参照)	(上記、 2-3-②項 参照)
66	392	24	一般的に次の3つが 挙げらる	一般的に次の3つが 挙げられる
67	394	8→9	BCP(Business Process Continue)	BCP(Business Continity Planning)
68	411	7	こうした 成功した企業	こうして 成功した企業
69	414	15	第3章 を参照	第2章 を参照
70	418	図表4-1-4	④ プログラム間 の整合性	④ プログラム間 の整合性
71	429	18	Environment、Society、Governance	Environmental、Social、Governance
72	440	19	第4部第4章 参照	第4部第4章6-2 参照
73	441	2、3、4	戦略 キャンパス	ビジネス キャンパス
74	452	図表4-5-12	内部組織との関係 ・・・ための 組織設計 を	内部組織との関係 ・・・ための 組織 を
75	471	10	プログラムマネジャー 支援する	プログラムマネジャー を支援する
76	473	20	(Responsibility Assignment Matrix:RAM)	(Responsibility Matrix:RM)
77	474	図表4-3-10	Responsibility Assignment Matrix	Responsibility Matrix
78	476	18→20	プロジェクトの終結時では、・・・必要である。	削除
79	478	13→14	図表4-3-11	図表4-3-12
80	510	5	プログ グラム	プログラム

No	該当頁	該当行 (図表番号)	誤	正
81	510	11→12	複数 する 存在する	複数存在する
82	522	8	プログラム 一つ	プログラムは 一つ
83	523	図表4-4-9	ナレッジ マネジメント	ナレッジ マネジメント
84	524	図表4-4-11	臨床に精通した人材の育成と技術・・・ 中途社員の採用	臨床に精通した人材の育成と技術・・・ 社員の中途採用
85	531	27	提供する という事は	提供する という事は
86	559	5	本章 では	第1章 では
87	566	10	以下 1. から4. の手順	以下の手順
88	569	16	(4) ソフトシステム 方法論	(4) ソフトシステムズ 方法論
89	570	12	図表5-1-3 ソフトシステム 方法論	図表5-1-3 ソフトシステムズ 方法論
90	571	17	(詳細は 第3章 を参照)	(詳細は 3節 を参照)
91	572	図表5-1-5	システムエンジニアリングの フェザー とステップ	システムズ エンジニアリングの フェーズ とステップ
92	631	18	リスクプレミアム： 市場全体の投資利回り ／ リスクフリーレート	リスクプレミアム： 市場全体の投資利回り ー リスクフリーレート
93	633	23	キャッシュフロー Cn は、割引期間(n 年)と・・・	キャッシュフロー Ct は、割引期間(t 年)と・・・
94	651	17	Hey グループ	Hay グループ
95	663	3	図 6-1-3	図表 6-1-3
96	665	3	自らある いは 組織が 次になすべき行動	次になすべき行動
97	668	図表6-2-4	実現する能力 (意志 、工夫、他人を動かす)	実現する能力 (意思 、工夫、他人を動かす)
98	682	20	学習の 風土に	学習をする 風土に
99	685	図表6-2-4	コミュニティ／コミュニケーション能力 創造性の 解媒	コミュニティ／コミュニケーション能力 創造性の 触媒
100	693	19	リーダーシブ	リーダーシップ
101	697	図表6-3-6	信念 ／IX 成果の 追求	信念 ／X 個人姿勢
102	732	4	第3部第1章 プログラムによる戦略の 実現	第3部第1章 プログラムによる戦略の 実践
103	732	6	第3部第3章 プログラムの 共通感	第3部第3章 プログラムの 共通観
104	733	7	第2部第4章 価値と評価 のマネジメント	第2部第4章 価値評価 のマネジメント
105	733	29	第5部第3章 価値と その評価手法に	第5部第3章 価値と 価値評価
106	745	左17	集団 凝凝集性	集団 凝集性